

豊明の朝鮮学校 専門分野で授業

県立大教授ら

愛知朝鮮中高級学校（豊明市）で21日、愛知県立大や琉球大の教授、准教授らがそれぞれの専門分野を取り上げた授業を行った。一般にも公開され、同校生徒約130人と地域住民らが聴講した。

適用を求めるネットワーキング愛知が主催した。講師11人が登壇し、「感染症の予防方法」「アルバイトの権利」「沖縄から見た朝鮮学校」など、多岐にわたるテーマで展開した。

アルバイトに関する授業を受けた高2の男子生徒(17)は「法律に基づいた話で勉強になった。普段はあまり会うことのない先生の話や、貴重な時間だった。これからも学校外の人と交流したい」と話していた。

【大野友嘉子】



生徒たちは招かれた講師の授業を熱心に聞いていた
豊明市の愛知朝鮮中高級学校で

2015年2月22日 毎日新聞

豊明の朝鮮学校 有志が交換授業

無償化適用求め

在日コリアンの生徒が通う豊明市の愛知朝鮮中高級学校で二十一日、県内外の高校や大学の教員、弁護士らが教壇に立つ「交換授業」があった。写真。

朝鮮学校が高校無償化の対象から除外されていることに異議を唱える人たちがつくる

「朝鮮高校にも差別なく無償化適用を求めるネットワーキング愛知」の主催で初めて企画。賛同する有志の教員ら十人が参加し、一般市民も見学を訪れた。

中学一、二年と高校一、二年の計七クラス百七十人が二時間にわたり、理科、英語、近代史などの授業を受けた。磁石が浮き上がる超電導の実験など大学で扱うような内容もあり、興味深そうに耳を傾けた。



「風刺とプロパガンダ」をテーマに授業をした浜松湖東高校の岡田昌人教諭(五)は「朝鮮学校の生徒には社会現象に対する敏感さがある。自分自身の勉強にもなる」と話していた。

中日新聞2015年2月26日付